

【熊野川支川36隣】災害関連緊急砂防事業 緊急事業分の堰堤工事の完了について  広島県

平成30年7月豪雨に伴い、安芸郡熊野町萩原において発生した土砂災害（土石流）に対して、広島県が緊急的に実施している災害関連緊急砂防事業について、所定の高さまで堰堤工事が完了しました。（令和2年11月17日）引き続き、地域の安全度を高めるため、激特事業により砂防堰堤の嵩上げ工事などを実施します。

位置図

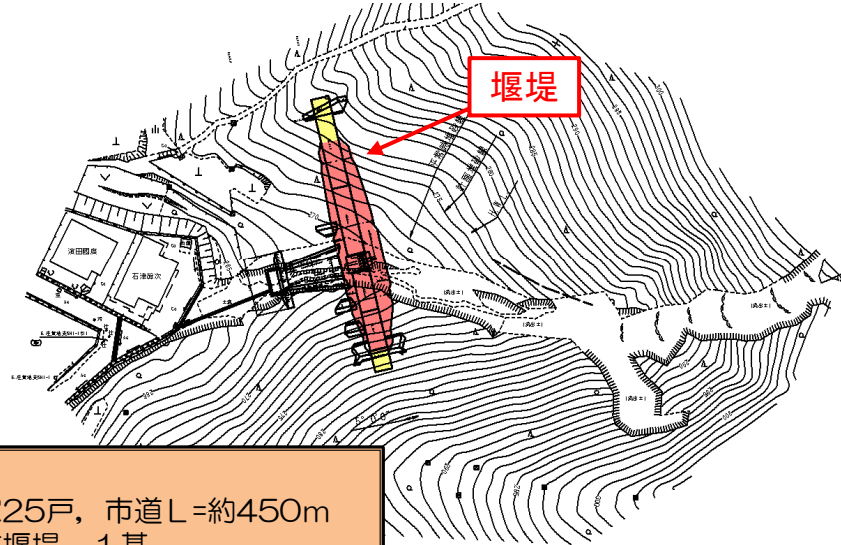


熊野川支川36隣

【被害状況】

土砂災害発生日：平成30年7月6日
半壊：1戸
市道：約470m

平面図



【事業概要】

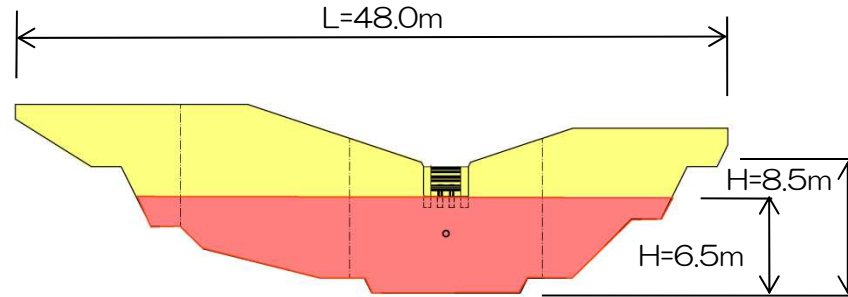
保全対象：人家25戸，市道L=約450m
主な対策：砂防堰堤 1基
高さ8.5m，幅48.0m
（緊急事業分：高さ6.5m）
採択額：約1.0億円（緊急事業）

■進捗状況

被災状況



堰堤一般図



■：災害関連緊急砂防事業
■：砂防激甚災害対策特別緊急事業

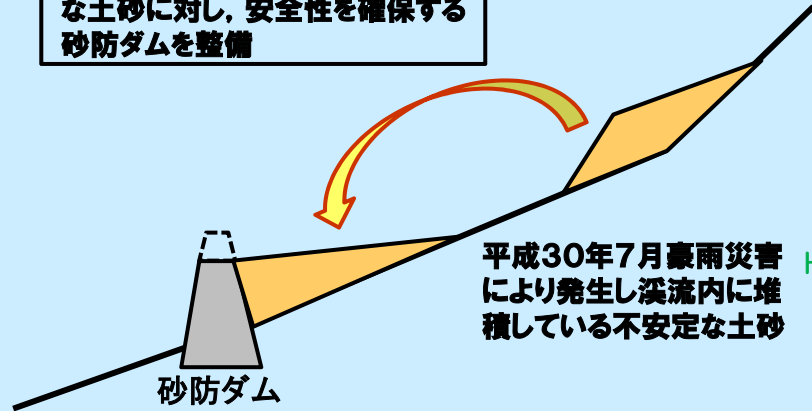
設計：応用地質株式会社
施工：株式会社横山建設
発注：西部建設事務所



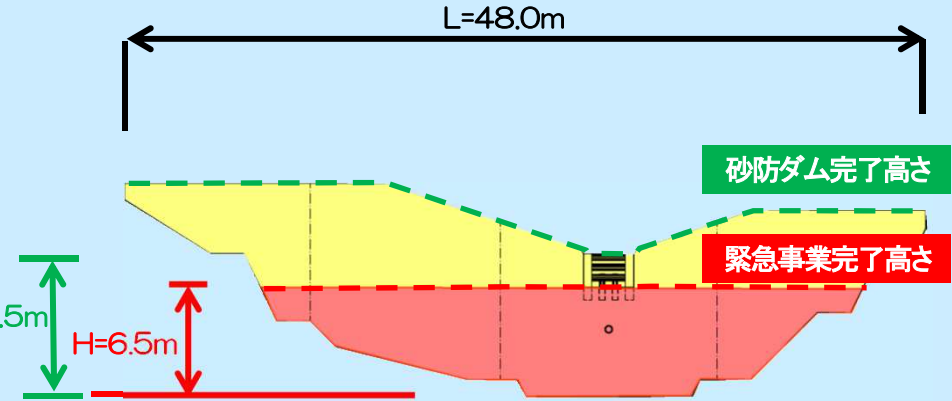
工事完了（令和2年11月17日）

緊急事業

豪雨災害により発生した不安定な土砂に対し、安全性を確保する砂防ダムを整備

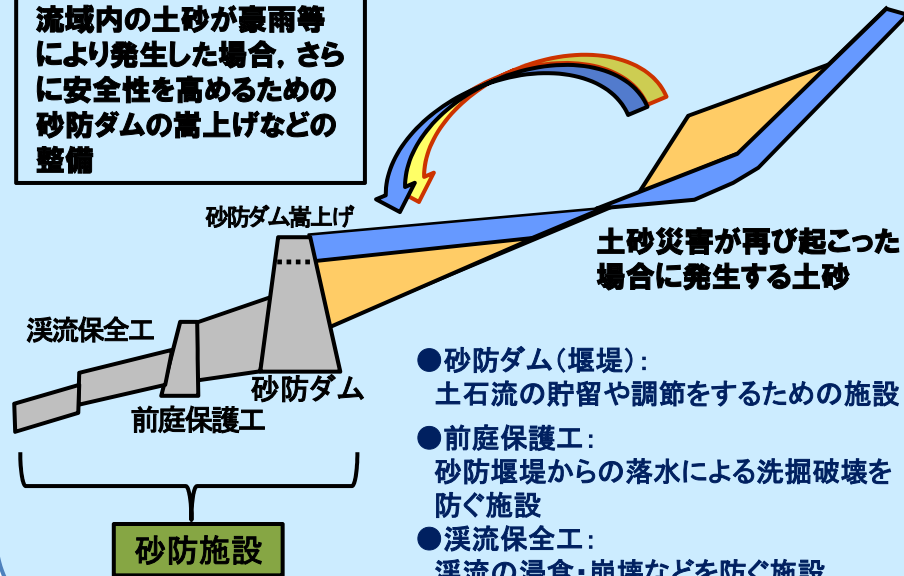


熊野川支川36隣砂防ダム



引き続き行う 流域の安全性を高めるための砂防事業

流域内の土砂が豪雨等により発生した場合、さらに安全性を高めるための砂防ダムの嵩上げなどの整備



- 砂防ダム(堰堤): 土石流の貯留や調節をするための施設
- 前庭保護工: 砂防堰堤からの落水による洗掘破壊を防ぐ施設
- 溪流保全工: 溪流の浸食・崩壊などを防ぐ施設



砂防施設完成イメージ